

読売新聞 きょう（9月30日）のイチ押し

1面など 自民総裁 岸田氏

自民党総裁選が投開票され、岸田文雄・前政調会長（64）が第27代総裁に選出されました。岸田氏は10月4日召集の臨時国会で第100代首相に指名され、同日中に新内閣を発足させます。

- ★ 1回目の投票は国会議員と党員・党友票の計764票で争われ、岸田氏が256票、河野太郎行政・規制改革相が255票、高市早苗・前総務相が188票、野田聖子幹事長代行が63票でした。岸田氏はトップでしたが、過半数に届かず、河野氏との決選投票に進みました。決選投票は国会議員票382票と47都道府県連各1票の計429票での勝負となり、岸田氏が257票を獲得して170票の河野氏を下しました。1回目で高市氏に投票した議員の多くが岸田氏支持に回ったとみられます。
- ★ 党員・党友の投票結果では、河野氏が37都道府県でトップに立ち、全体の44%を獲得しました。党員票で大差をつけられた岸田氏に対しては「選挙の顔としては地味」という評価もつきまといまいます。11月投開票の衆院選が試練の場となりそうです。

特別面 地域経済@島根 出雲の鋼 未来切り開く

関西経済面の特別版として今年1月から随時掲載している「地域経済」では、今回は島根を取り上げています。島根県東部の出雲国は古来、高純度の鋼を生産して美しい日本刀を生み出してきました。その技術は地元の特殊鋼メーカーに受け継がれ、航空機や電気自動車の部品に適した次世代金属を作り出そうと開発が進んでいます。二酸化炭素の排出量が多い鉄鋼業界は、環境対策という逆風に直面していますが、島根の製鉄集団は生き残りをかけて技術革新に挑んでいるようです。

他紙と比べて

減災のページでは災害時のトイレについて考えています。衛生的なトイレ環境の確保は避難生活での健康維持に欠かせません。様々な災害用トイレを写真で示しているほか、ゴミ袋や新聞紙を使った即席トイレの作り方なども紹介しています。切り抜いておきたい情報です。